

## 地区別カルテ(自得小学校区)

### 水害・土砂災害

#### 【洪水の危険性】

- 岩木川沿いを中心に最大 2m 程度の浸水 (1 階まで水没) が想定され、床上浸水が約 210 棟想定されています。

#### 【土砂災害危険箇所の分布】

- 県道 31 号沿いを中心に土砂災害警戒区域が 7 か所あります。

#### 【避難所】

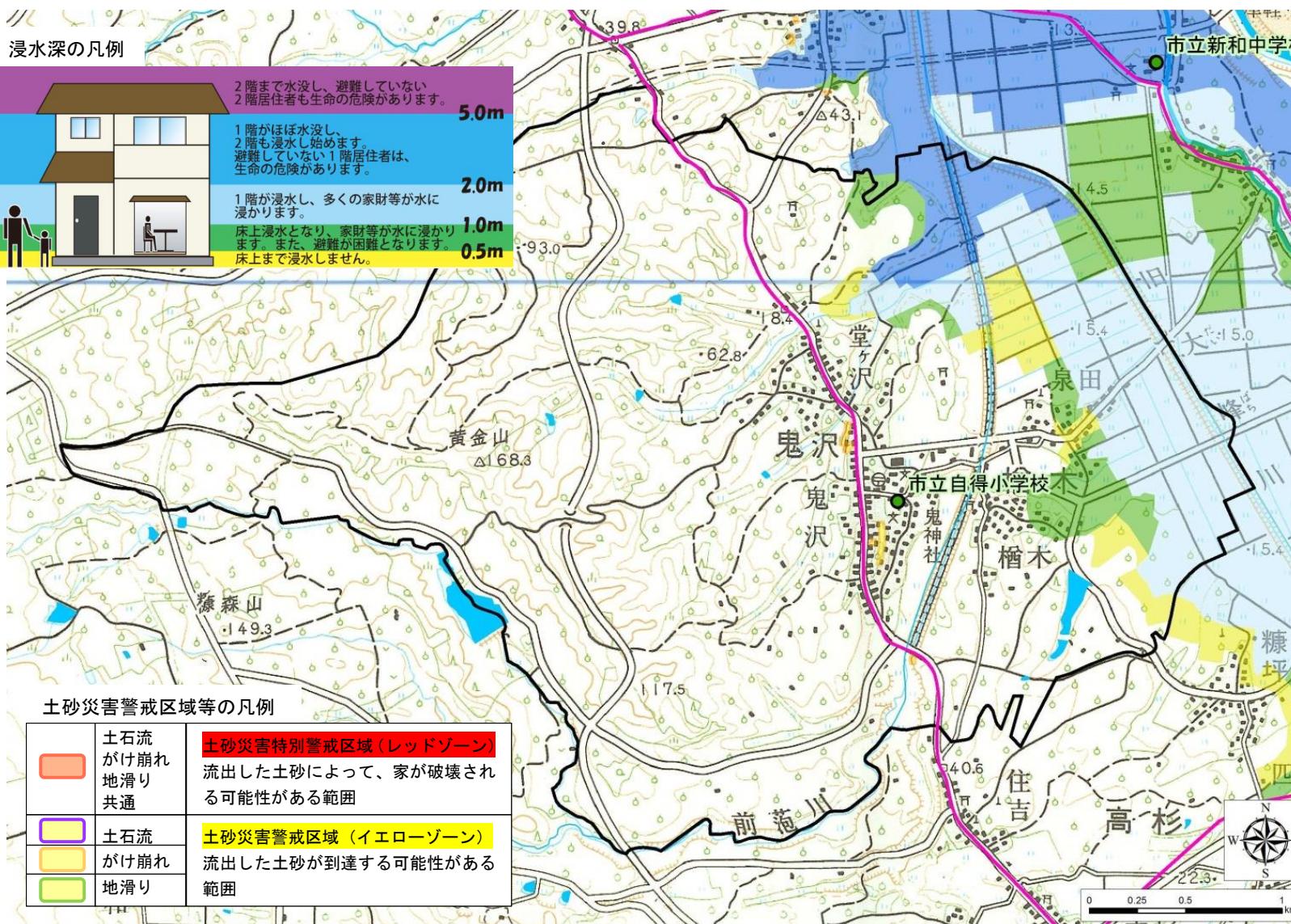
- 地区内の避難所は自得小学校です。想定される避難者に対して十分な収容能力があります。

弘前市全体図



施設の凡例

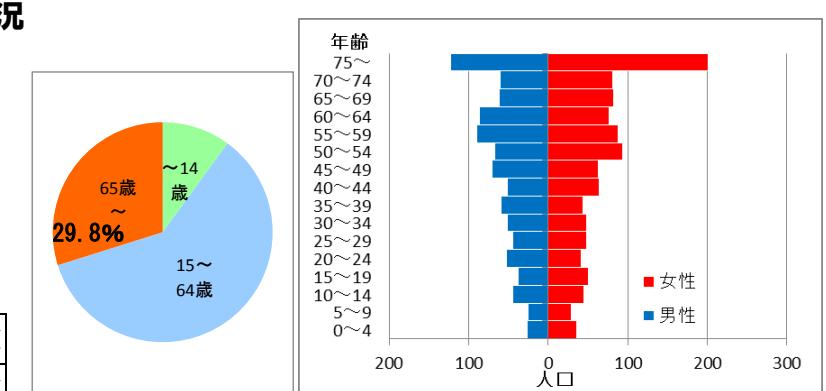
- 避難所 災害発生時等に、市民の生命、身体を保護するための施設
- 緊急輸送道路 災害発生直後の救助活動や物資輸送等の応急対策を円滑に行うために指定された道路です。この道路が災害により通行不能となると、必要な応急対策の実施に支障をきたします。



### ■自得小学校区の社会状況

#### 1. 人口

総人口	2,057 人
世帯数	551 世帯
人口密度	1.5 人/ha



#### 2. 建物

建物棟数	1,768 棟
木造建物	1,528 棟
(旧耐震基準) 昭和 55 年以前 木造建物	963 棟 (63.0%)
非木造建築	235 棟
(旧耐震基準) 昭和 55 年以前 非木造建物	184 棟 (78.2%)

### ■被害想定結果

#### ○建物の被害

	値	割合 (被害率)
水害	浸水深 50cm 以上の建物棟数	210 棟 11.9%
	浸水深 2m 以上の建物棟数	6 棟 0.4%
土砂	土砂災害警戒区域等内の建物棟数	23 棟 1.3%
	土砂災害特別警戒区域等内の建物棟数	0 棟 0.0%
地震	地震動	震度 4 ~ 5 弱
	液状化危険度	ない ~ 低い
	全半壊棟数	6 棟 0.3%
	揺れによる全壊棟数	0 棟 0.0%
	揺れによる半壊棟数	0 棟 0.0%
	液状化による全壊棟数	3 棟 0.2%
	液状化による半壊棟数	3 棟 0.2%

#### ○避難者

水害による避難者数	土砂災害による避難者数	地震による避難者数
153 人	17 人	5 人

### ■避難所

避難所	収容人数	水害・土砂災害時
市立自得小学校	207	○

※この結果は、ある一定の条件下での想定結果であるため、想定条件を超える豪雨の場合はマップ上で浸水深が示されないエリアにおいても浸水が生じたり、記載されている浸水深より深くなることがあります。

## 地震災害

### 【地震による被害想定の概要】

- ・地震による揺れは最大震度5弱と小さいものの、ブロック塀や家具の転倒等により被害が発生する可能性があります。
- ・岩木川沿いを中心に液状化が想定され、建物の沈下・傾斜や道路の段差発生等の被害が想定されます。

### 【避難所】

- ・地区内の避難所は自得小学校です。
- ・避難所は想定される避難者に対して十分な収容能力があります。

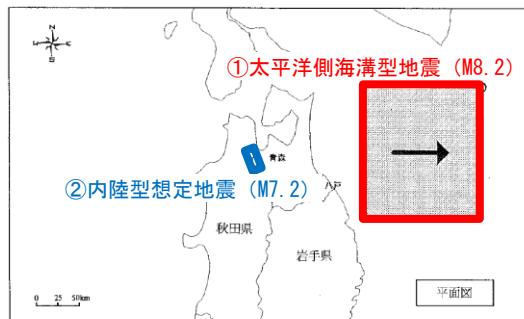
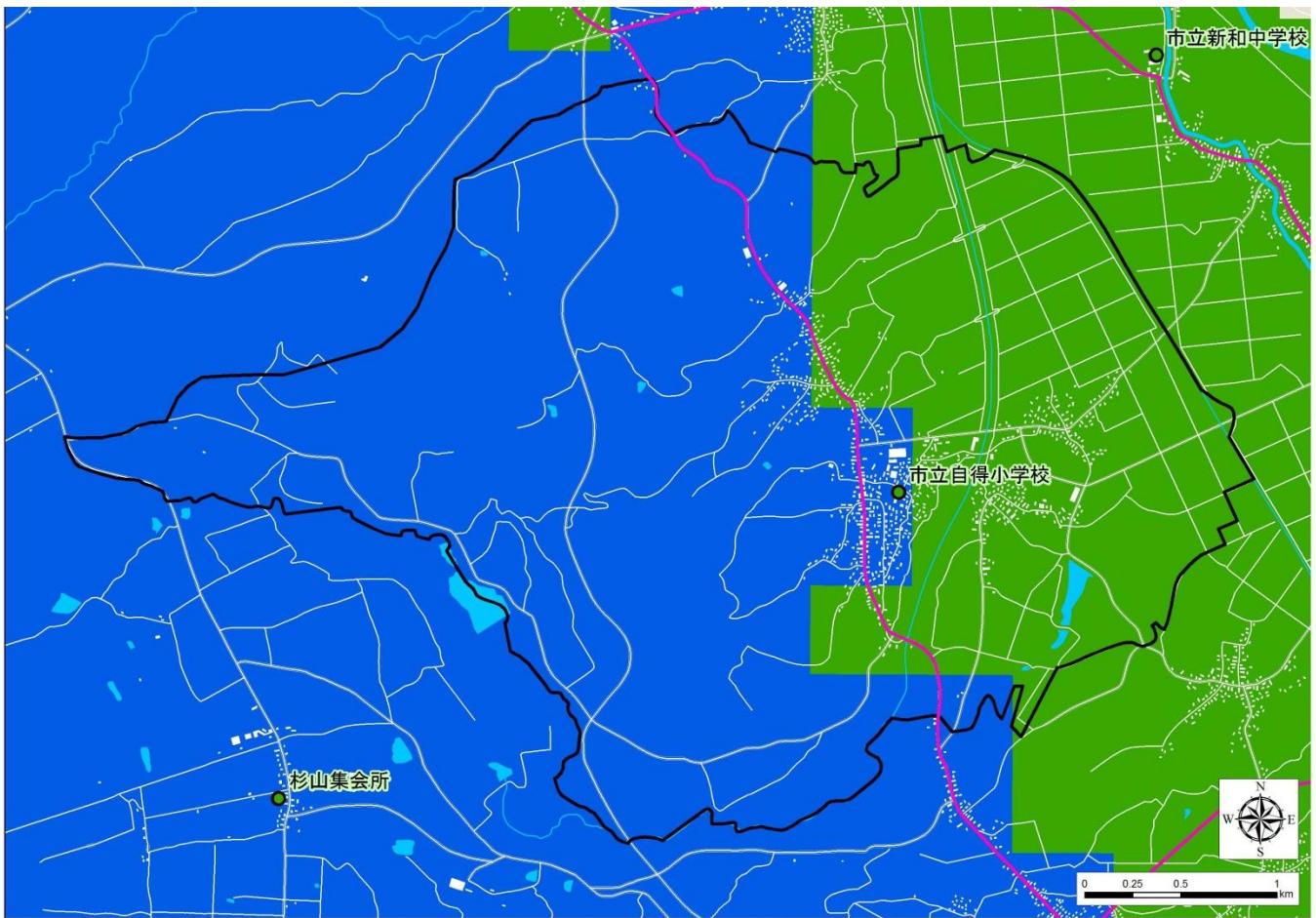


図 想定する地震の震源位置

※平成7,8年度に実施された「青森県地震・津波被害想定調査」において検討された上記の2地震を想定しています。

### 1. 想定震度 (①太平洋側海溝型地震(M8.2))



#### 震度の凡例

震度4	座りの悪い置物が倒れることがある
震度5弱	固定していない家具が倒れることがある
震度5強	ブロック塀が崩れることがある
震度6弱	耐震性の低い木造建物は倒れるものがある

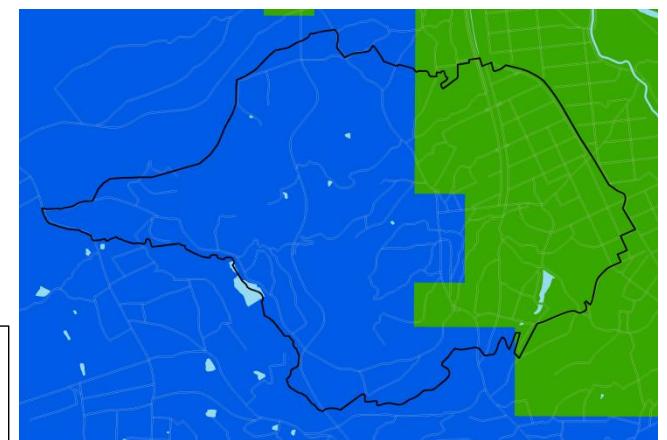
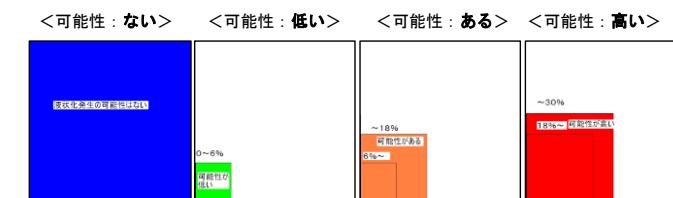
#### 施設の凡例

- 避難所 災害発生時等に、市民の生命、身体を保護するための施設
- 緊急輸送道路 災害発生直後の救助活動や物資輸送等の応急対策を円滑に行うために指定された道路です。この道路が災害により通行不能となると、必要な応急対策の実施に支障をきたします。

## 2. 液状化危険度 (①太平洋側海溝型地震(M8.2))

※液状化危険度は、液状化の可能性を表したものであり、液状化による被害の程度を表したものではありません。

ある範囲内において液状化が発生する面積の割合を緑色<橙色<赤色の順に表示しています。青色の範囲は、液状化の可能性はないと考えられます。



### 3. 建物被害(①太平洋側海溝型地震(M8.2))

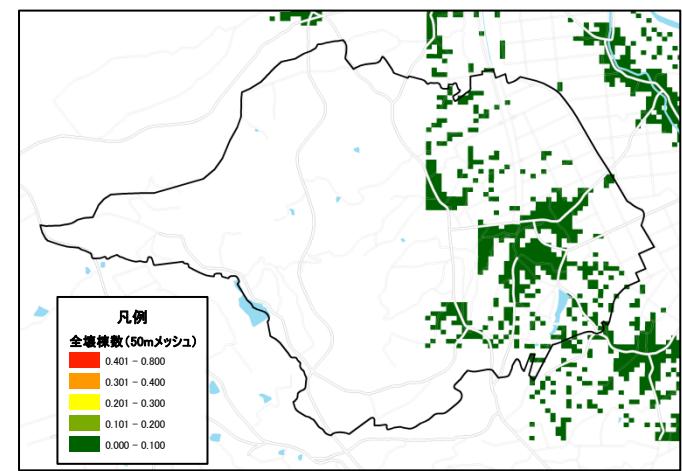
震度6弱以上の地域がないため、揺れによる建物被害はほとんど想定されていませんが、液状化により6棟の建物の全半壊が想定されています。

また、揺れによる建物全壊が0棟のため、人的被害は想定されていません。

		建物棟数
揺れ	全壊棟数	0
	半壊棟数	0
液状化	全壊棟数	3
	半壊棟数	3
		合計
		6

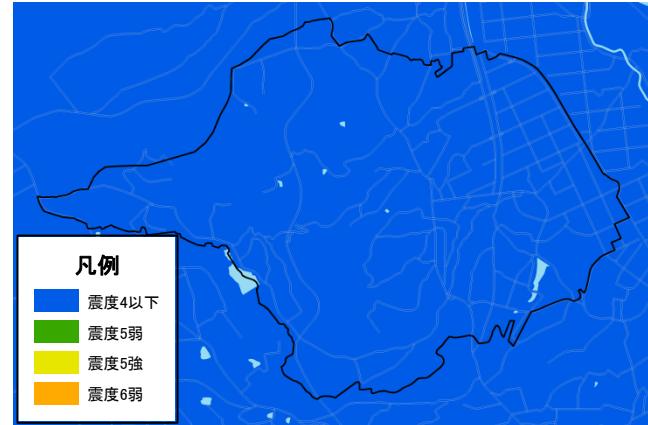
※右の図は、揺れと液状化による全壊棟数について、50m四方ごとの値を示しています。

上の表は、地区内全体の全壊棟数、半壊棟数の合計を算出したものです。



### 【参考】②内陸型想定地震(M7.2)の場合

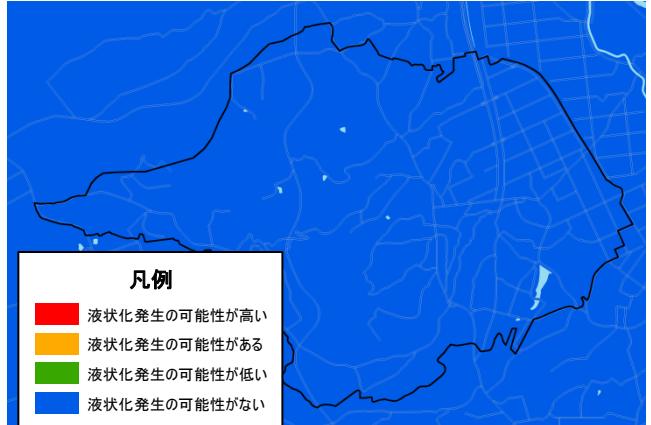
#### ■想定震度



#### 凡例

震度4以下
震度5弱
震度5強
震度6弱

#### ■液状化危険度



#### 凡例

液状化発生の可能性がない
液状化発生の可能性がある
液状化発生の可能性低い
液状化発生の可能性高い

※②内陸型想定地震において、建物被害、液状化発生の可能性はありません。